

方剂名	効能	生薬組成
書籍	主治および証	病機 方意
<p><b>温裏剂 回陽救逆剂 4</b></p>		
<p>どくじんとう 独参湯</p>	<p>益気固脱</p>	<p>人参9～12gを水煎し頓服する。</p>
<p>傷寒大全</p>	<p>主治は、元氣虚衰あるいは氣随血脱で、顔面蒼白、無欲状態、冷や汗、脈が微細、血圧下降などショック状態を呈す。 大補元氣の人参により氣虚欲脱を防止し、益気摂血する。 但し、大量を用いてはじめて効果がある。また、ショックが回復した後は、根本的治療に切り替える必要がある。 &lt;参考&gt; 時間が経過して、チアノーゼ、四肢の冷えなどの細小動脈の収縮を伴う状況には、細小動脈拡張作用、強心作用のある補陽祛寒の附子を加えた参附湯や、さらに乾姜を加えた四逆湯を用い、発汗がつよいときには、固渋止汗の竜骨・牡蠣を加えた参附竜牡湯を用いる。なお、ショックに続発するDICを予防するためには、活血化癥薬を配合するべきであるとする人もいる。</p>	